

スをものに出来なかったが、いつもそうだが、すばらしいプレーに心あたたり満足をしている。……

4月と云えば、この22日～28日は「ロータリー雑誌週間」である。友、3月号20Pに談話室欄があるが、呉東 R.C. 雑誌委員会のプログラムが書いてあるのを読んだが大変結構なことだと思う。当クラブでも、いつの頃だったか、さだかではないが、数年前確か遠藤尚義委員長の頃、ロータリーに関する書籍を展示し特に新入会員に勉強の意味をかね貸出等したことがあったが、週間を前にし考提したい。情報委員会等の力もおかりしなければならないだろうが、先般の卓話はひさびさのお話、初代会長だった。その頃のニコニコBOXはどの位で今はその何十倍の増加になっているだろう、又その頃の卓話は、どなたが、どんなお話をして下さったことだろう、殊に新しい会員の方々のためだけではなく、クラブの歴史の一面を理解していただくことも大切だ。

M.Yoshii

◎卓話 高杉会長所有の迫水久常氏の「終戦秘話」のテープを聞きました。

会報委員会よりお願い!

ニュースをどんどんおよせ下さい

◎出席報告

会員数	72名	出 席 率	函館北(3/14)	97.22%
出席	52名		函館東(2/27)	97.78%
欠席	20名		函館(3/1)	89.47%
他クラブ出席	18名		函館五稜郭(3/2)	100.00%
出席合計	70名		亀田(2/26)	85.37%
出席除外者	0名			

次回例会日 4月11日

プログラム “私の履歴書” 岩塚陽一会員



第251地区

# 函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌフ)

第743回例会

1978-1979 第39号 1979・4・11



深瀬 鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル  
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

“私の履歴書” 岩塚陽一会員

第742回例会記録

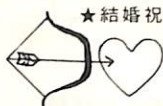
- ◎司会 平野 義勝副会長
- ◎斉唱 君が代 奉仕の理想
- ◎ビジター 小樽南R.C. 小松 清君 函館R.C. 松岡 悟君他4名
- 函館東R.C. 森岡 勝君 函館五稜郭R.C. 西村 憲人君
- 他2名 亀田R.C. 鹿野 文男君

◎会長報告 平野 義勝副会長

- ・謹んで御報告申し上げます。宮崎英一会員の御母堂ハツ様に於かれては去る3月30日早晩79才の生涯を寝るが如く穏やかに閉じられましたとの赴報に接しました。クラブと致しましてお花香料を御霊前に捧げると共に会長・幹事・友人が親しくお焼香致し心からなる御冥福を祈った次第でございます。
- ・明年1980年2月23日は国際ロータリーが満75才になる日でございます。よってロータリアンの記憶に残る様な事業計画を1979年～1980年度を通じてクラブ活動が一斉に実施されます。ガバナー月信第10号昭和54年3月18日次期会長・幹事懇談会に発表されました。地区としてはロータリー創立75周年委員会を発足させて、事業計画調整クラブ事業遂行の指導をする事が決定になりましたので、当クラブに於いても創立75周年委員会を作り、来る6月23日滝川に於ける「地区協議会」にはクラブ75周年委員長は出席義務者に指名されて居ります。この1/4世紀を回顧する一大行事となりますので、皆様の積極のご協力をお願いするとの富田嘉市ガバナーのお話してございました。
- 尚、北クラブでは遠藤基金の運営の在り方に就いて、北クラブ創立15周年年次大会ホストクラブ担当記念として次年度で取り上げる予定でございましたが、ロータリー75周年記念行事も出て参りましたので会員の皆様の色々の御意見を伺って進めて行きたいと存じますのでお協力の程を切にお願い申し上げます。
- ・4月としてのロータリー行事は第4週間があります。4/22～4/28 財団法人ロータリー米山奨学金に請求すれば各種資料が入手出来ます。

◎幹事報告 西巻 秀樹幹事

- ・いつもの様に月のはじめでございますので、例の財団の基金箱をまわしますので御協力下さいませお願い致します。
- ・先般も御案内申し上げましたが、松前 R.C. の創立10周年記念式典が来る5月13日にあります。出欠の葉書を廻しますので多数の参加をお願い致します。尚、当日は5クラブで汽車をチャーター致しましたので御利用下さい。又登録料は1万円ですが、クラブで5千円負担致しますので会員負担が5千円程度かと思ひます。尚、本日理事会がありますので残る様お願い申し上げます。



★結婚祝

伊藤(剛)会員(4日)・吉田会員(11日)・浜会員(12日)・  
 斎藤会員(20日)・宮崎会員(23日)・中野(純)会員(28日)  
 市川会員(29日)・加藤会員(29日)



★誕生祝

重本会員(4日)・竹野会員(7日)・中里会員(7日)・  
 岩塚会員(28日)

◎親睦活動委員会 大島 勝彦副委員長

ニコニコBOX投入のお知らせ

松岡函館 R.C. 会員…地区大会準備御苦勞様です。  
 田中会員・古川谷会員・加藤会員 } =ニコニコBOX協力願います。  
 吉田会員・高橋会員・中野会員 }  
 沢田会員・重本会員・小松会員……なんとなく  
 竹野会員・中里会員……誕生日有難う御座います。  
 広瀬会員……いよいよゴルフシーズンに入りました。  
 俣野会員……在籍満50年会員として医師会より表彰されました。  
 西川会員……娘が幼稚園に入園しました。  
 宮崎会員……母の葬儀無事終了しました。

◎卓話 「私の履歴書」 伊藤 貫一会員

私は昭和10年に東北帝国大学に入った。始め教育学を勉強するつもりであったが、当時の哲学科の教授陣は実に素晴らしい陣容であり、後に文化勲章を受けたり、文化功労者になられた方がおられた。哲学ばかりでなく他の科にも一流の学者がおられた。それらの中で私は次第に哲学に魅せられてしまったのである。そして本来ならば飯の種にもならない哲学を自らの飯の種にすることになってしまった。当時の大学には落付いた雰囲気があり、とにかく精一杯やって何かを得ようという気風があったように思われる。教授と学生との関係も実に親密で、各教授はそれぞれ週一回面会日をきめておられたので、助手や学生はその日にお宅を訪問してお話を伺うとともにその人格に直接触れつ機会をもつことができた。このことは私の人間形成にかなりの影響を与えたように思われる。今顧みてまことによき時代のよき大学であった。今の大学の学生に、大学は真理を探究するところだなどと云ってもその言葉は殆んど通じない場合が多いと思われるが、当時はそれがある程度実感として受けとられたのである。

昭和13年3月に卒業したのであるが、その1月に全く幸運にも倫理学の教授のお世話でベルリン大学に学ぶことになった。始めは少なくとも3～4年は居るつもりでいたが、第一次大戦勃発のため翌年12月には帰国せざるを得なくなった。この約1年半に亘るかの地での経験は私にとって貴重なものであった。その日常的な経験の中から、今想起すままにいくつかについてお話しすることにしたい。

先ずその第一はドイツ人の生活の合理性についてである。ベルリンに着いて最初の夜の驚きは、下宿のマダムから風呂の湯の適温を聞かれたことである。私はそれまで風呂の温度などただの一度も検べたことはなかったがその時生れて始めて私の適温は42度であることを発見した。これは湯をわかすために無駄な熱エネルギーを消費しないための配慮であろう。このような例はきりなくあ

る。例えば紅茶を飲むためにお湯をわかさねばならぬ（当時は今のポットというようなものはなかった）。その際そのお茶を何杯飲むかと聞かれたことがある。何のためにこんなことを聞くのかと不思議に思っていたら、2杯飲むという私の答えに対してカップで2杯分の水をきちんと量って薬罐に入れてガスでわかしたのである。その理由はたちどころに氷解した。一事が万事すべてこの調子である。ガスをつけたまま他の用事をしていた私の家内は早速注意された。電気について言えば、私の部屋の電灯をつまたままトイレに行き注意されたことがある。ちょっと極端にも思えるが、彼らの節約はまことに徹底したものである。私はそこでドイツのみならず一般の西洋の合理主義というものの根底を始めて悟った気がした。合理主義の合理性というのは要するに無駄をしないことである。合理的な思考とは、思考の過程に不用な爽雑物を、例えば感情のようなもの入れないで理性のみで論理の筋道を辿ることである。このような経験を通して私は思想の根底には生活がなければならぬということをも身をもって体験したのである。そうでなければ思想というものは根のない単なる言葉の遊戯になってしまうであろう。

次に子供の躰とも深くつながることを少しく話そう。一つは時間のことである。当時私は夕方など近くの公園をよく散歩していた。すると必ずそこで遊んでいた子供たちがよって来て、今何時かと聞くのである。そのようなことが度重なったが、それが何のためであるかわからなかった。それが或る機会にわかったのである。それは或る家庭から夕食の招待をうけた時にである。食事は6時の約束であった。ところがその家の10才位の男の子は6時になっても遊びから帰ってこず、約5分程遅れた。その時の母親の処置はどうであったか。子供は食事にありつけず、食堂の隅に立つことを命ぜられたのである。あまりふびんなので私がとりなしたが母親は断乎としてきかず、遂にみんなの食事が終るまで立たされたままであった。子供にとって時間を厳守しなければならないことを身にしみて悟ったことであろう。時間を守らないことは他の人の時間を無駄にするとともに甚だしい迷惑をかけることになる。このことを通して子供たちは時間の尊とさとともに社会性をも身につけるのである。社会性についても一つ付け加えるならこのようなことは日常しばしば経験することであるが、それは電車やバスに乗るために停留所に1列にいらんでいる時、いざ乗る段になったとき、子供が後から前に出てきたとする。その場合必ず大人はその襟首をつかまえて後に引き戻すのである。そんなことを2、3度経験すれば子供は決して列を乱すようなことはなくなるのである。また乗物の中で大人が立って子供が坐っていることは決してない。もしそのようなことがあれば大人が遠慮なく立たせる。だから子供は大抵は立っているのである。子供の躰は原則としては家庭がしなければならないが、社会もしなければならない。

子供の躰で大切なことはその他食事のマナーである。夕食は普通一家族揃っ

てきちんとした作法によって行われる。それは一つの儀式のようなものである。その時ふざけたり、やかましい音をたてたり、食べ残したりしたらきびしく叱られる。人間の食物は餌ではない。人間の食事は人間的な作法によってしなければならない。このように作法にかなった食事の中から子供たちは人間としての最も基本的なことを学ぶのではなからうか。

私は躰の基本は自分自身に対する厳しさと他への思いやりの二つだと思う。一つは他に甘えることをせず、自分の思考と行動に対して責任をもつことであり、二つには他者に対して常に配慮するということである。このような原則が今はかなりおろそかになっているのではなからうか。

最後に一つ付け加えるなら、物を大切にしない者は心をも大切にしないということである。この両者は深くつながっており、決して別のものではない。このようなことを学んだのが私の心の履歴書の一節である。

### 談話室



連日の様にさわやかな満足をあたえてくれた春の高校野球も、箕島・浪商両校の決勝戦を最後に終わった。毎日の様に街々を走り廻った選挙カーも今朝は無い。おだやかな春のひざし一ぱいにあふれた日曜日である。……何かと問題の多き年故に、選挙も人ごとではないようで投票の出足も良く前回より多少も上ることだろう。私の一票はきつと良き結果になると考えている。道知事はやっぱり現職の堂垣内尚弘氏が再選されるだろう、当クラブの小笠原孝君は最高得票でこれ又再選確実と言っているだろう。

今夜は楽しみにしているジュニア・フライ級タイトルマッチが行われるが、チャレンジャーのロベス（パナマ）も大変なハードパンチーと聞いているが、具志堅用高のパンチにはかなわぬだろう。きつとダウンで防衛を飾るだろう。プロ野球も開幕した、緑の野山、青い海、澄んだ雄大な山にと、身も心も躍動する季節である。（M・Y）

### ★春いまだし 地区ガバナー 富田 嘉市

国際児童年につきましては、第9信にて簡単に触れましたが、最近の激増する青少年の自殺や、金融機関への強盗、更には、わが地区で発生した小学生の誘拐事件などを知るにつけ、一体我が国の世情はどうなっているのだろうか、考えさせられる事が多いのです。

「日本の経済は高度生長をしたが、国民は自国を守る義務を怠り、豊かさに馴れて苦しみに耐えることを忘れてしまった。政治家は国民に迎合するだけで、国家百年の大計を示さない。その原因はなにか。遠くて近い国への追従外交、これではアジア諸国に信頼されない。日本人は相手の身になって考えることに欠けているのではないか。自分だけが良ければよいという身勝手な考え方に気が付かない



ようでは、国際社会の孤児になりかねない。」と云うことを、ある本で読みましたが、それにしても最近特に目立つ青少年の自殺は、社会問題としても決して等閑視出来ず、その原因の究明や対策は充分にとらなければなりません。

先頃神戸市にてPTAと教師が話し合い、他人の子供でも悪いことをしたら叱るという運動を始めたとのことであります。正邪を正しく判断し、間違いを正すのは極めて当然のことであり、これに附随して、「私の子供を叱るなんてとんでもない」と激怒した若い母親の声を聞いておりますが、これなどは戦前派の私には奇異の話としか受け取ることが出来ません。

青少年の自殺の原因には、進学に対する精神的圧迫、学業への自信の喪失・両親との不和などが多いと言われますが、これには最も感じ易い思春期の男女に対する人間形成への努力や、倫理観の欠如、教育の見直し等の諸問題が底流にあると思いますが、この世で醜いことは、社会が悪い、行政が悪いと言って、その責任を他に転嫁するなすり合いの心ではないでしょうか。

私は国際児童年に当り、青少年に対する耐える心、善悪を判断する心、礼儀を重んずる心、健康で積極的な心を養うと共に、両親との茶の間での心のふれ合いの大切さが痛感されてなりません。



3日運動シンボル・マーク

この白黒のシンボル・マークは、保健・飢餓追放・人間性尊重を旨とする新プログラムのシンボル・マークです。このプログラムの表象は、病苦や飢えから解放され、家庭の温かさに囲まれた生活という、明るい気持を象徴するものです。しかしその表象は、希望と目標を表わすものであって

現状を示すものではありませんが、このシンボル・マークは、これから展開されてゆくこのプログラムに関する出版物や資料に使用されるものです。

(ガバナー月信第10号)

●出席報告

会 員 数	72名	出 席 率	函 館 北 ( 3/28 )	95.33 %
出 席	49名		函 館 東 ( 3/13 )	97.78 %
欠 席	23名		函 館 ( 3/15 )	89.47 %
他クラブ出席	20名		函館五稜郭 ( 3/16 )	100.00 %
出席合計	69名		亀 田 ( 3/12 )	80.49 %
出席除外者	0名			

次回例会日 4 月 18 日

プログラム “最近の特許状況” 弁護士 早川 政名氏

REACH OUT...  
手をさし伸べよう...

(R.I. 会長 クレム・レヌフ)

第744回例会

1978-1979 第40号 1979・4・18



深瀬 鴻一郎 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル  
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話 (0138) 23-3870

本日のプログラム

“最近の特許状況” 弁理士 早川 政名氏

第743回例会記録

- ◎司 会 高 杉 重 雄 会長      ◎齊 唱 それでこそロータリー  
◎ビジター 横浜港北 R.C. 松崎 泰長君 小樽南 R.C. 小松 清君  
函館 R.C. 米沢 十平君 他 5名 函館東 R.C. 中山 章君 他  
1名 五稜郭 R.C. 岡田 芳也君 他 4名 亀田 R.C. 森 光  
春君